

西尾市岩瀬文庫見学会

加藤直志

【抄録】 昨年度に続き、希望者を対象に、西尾市岩瀬文庫の見学会を実施した。当日は、学芸員や大学教授から、岩瀬文庫の紹介や古典籍調査についてのお話を伺ったあと、実際に同文庫が収蔵する古典籍の一部を手にとって閲覧させていただいた。文法中心の、通常の古典の授業では学べない、我が国の書物文化について伝えようとする企画であった。

【キーワード】 西尾市岩瀬文庫 古典籍 伝統的な言語文化

平成24年8月1日（水）、西尾市岩瀬文庫見学会を開催した。第2回目となる今回は、国語科と社会科の合同企画という形をとり、古典文学を専門とする国語科・加藤直志と日本史を専門とする社会科・曾我雄司の2名で引率した。事前に参加希望者を募り、当日は、中1～高3までの希望者16名と保護者1名が参加した。

岩瀬文庫は、1908（明治41年）に、西尾市の実業家岩瀬弥助が設立した私立図書館が起源で、戦後西尾市の施設となり、現在に至っている。同文庫には、『後奈良天皇宸翰般若心経』（重要文化財）、『枕草紙』（岩波書店の日本古典文学大系『枕草子』の底本）をはじめとする貴重な蔵書が約8万冊収蔵されている。

同文庫では、平成12年度より、新目録完成を目指した平成悉皆調査を実施しており、筆者が学生時代にその調査に参加していた。その縁もあり、同文庫主査学芸員の林知左子先生、同文庫資料調査会会長で名古屋大学大学院文学研究科教授の塩村耕先生のご協力のもと、昨年度から行っている企画である。

午前中、林先生や塩村先生から、岩瀬文庫の説明、古典籍についての講義などをしていただき、午後は、実際に古典籍を手にとって見る事ができた。『後奈良天皇宸翰般若心経』（重要文化財）、『枕草子』のほか、生徒のみなさんがリクエストした『徒然草』『十訓抄』『平家物語』『源氏物語』『太閤記』などを閲覧した。参加した生徒達が、くずし字読解クイズをしながら『源氏物語』の写本を読んだり、『徒然草』や『十訓抄』などで教科書に載っている箇所を見つけて喜んだりする様子が印象的であった。また昼休みには、喫茶室で西尾名物の抹茶を注文するなど、古典籍以外にも楽しい一日になったようである。

今回の見学会がきっかけとなり、日本文学や歴史学系統の学科への進学を考えるようになった生徒もおり、生徒達にとっては貴重な体験となった。来年度以降も、可能であれば同様の企画を続けていきたいと考えている。

参加した生徒の感想（一部）

くずし字は全く読めないで枕草子も源氏物語も何が書いてあるとかは全然分からなかったけれど、時々日本史や古典で習った言葉を見つけると嬉しくなりました。

何十年も何百年も前の昔の人が、今わたしが触れている本を読んでいたのかと思うと、なんとも言えない不思議な気持ちになりました。わたしはあまり自分が日本人であることに誇りをもてませんが、この時は日本人で良かったな—と思いました。

また機会があれば行ってみたいし、これからまたいろんな古典文学を読めたらいいなと思います。

（高校3年生女子）

まず、こんな近くに教科書に載るような本の原本があるとは思っていませんでした。古文書があるといっても普通の図書館よりも小規模なものだろうとも思っていたのですが、実際に見ると予想以上に規模が大きく、どちらかと言えば、研究施設なのかと思いました。

（中略）

草書で書かれているため、あまり何が書かれているかは分かりませんでしたが、農機具一つ一つの寸法が書かれていたり、当時の生活の特徴を捉えていた絵は、おもしろく、ほのほのとしていました。また、天皇が書かれた巻子を実際に見るだけでなく、触ることができる人はこの世の中であまりいないと思うので、とても貴重な経験が出来たと思います。

（中学3年生男子）



学芸員の林先生による解説の様子

西尾市岩瀬文庫見学会参加者の皆様へ

国語科・加藤直志

当日 (8月1日) のタイムスケジュール

- 8:50 集合 (時間厳守!)
名鉄金山駅中央改札口
- 9:09 金山駅発 特急 (一部特別車) 豊橋行き
9:29 新安城着
9:37 新安城発 普通西尾行き
9:58 西尾口着
徒歩 (暑いかもしれないので飲み物持参がよいかも)
- 10:15 岩瀬文庫着
10:15~11:45 岩瀬文庫の紹介・古典籍についてのお話 (岩瀬文庫主査学芸員 林知左子先生)
- 11:45~12:15 「岩瀬文庫平成^{しゅうかい}調査」についてのお話
(名古屋大学大学院文学研究科教授 塩村耕先生)
※塩村先生のご都合により変更することもあります。
- 12:15~13:15 昼食休憩
※周辺の飲食店へ行く、お弁当を公園で食べるなど自由行動。ただし、コンビニや飲食店はやや遠い。文庫内の喫茶室で持参したお弁当を食べることは可。喫茶室では西尾の抹茶などを飲むことができます (有料)。
- 13:15~15:15 閲覧室で資料閲覧
(岩瀬文庫主査学芸員 林知左子先生)
※昨年は1時間ほどの予定でしたが参加者が熱心で時間が足りず、大幅に延長しました。今年度は、初めから2時間とっておきます。
- 15:20 岩瀬文庫出発
徒歩
15:42 西尾口発 普通新安城行き
14:02 新安城着
16:12 新安城発 特急 (一部特別車) 岐阜行き
16:33 金山着
※各自降りたい駅で降りてください。ただし、勝手に降りずに「帰ります」と先生には言ってください。

持ち物・服装

制服着用、昼食 (近隣の飲食店やコンビニを利用してもよいが、やや遠い)、道中暑いかもしれないので飲み物、筆記用具、交通費 (片道710円 + 自宅から金山まで)

古典籍に触れますので、爪は切っておくこと。指輪、時計はその場で外してもらいます。

その他

当日、急病などで欠席する場合は、8時30分までに学校に電話してください。

台風接近などの際にはやむをえず中止する場合があります。その場合は、学校のホームページに掲載します。